

第52回 中国四国リハビリテーション 医学研究会

第47回 日本リハビリテーション 医学会 中国・四国地方会

プログラム・抄録集

会期 2022年 **7月10日** 9:00～
7月24日 17:00

会場 **完全WEB開催**

会長 **加世田 ゆみ子**

広島市立リハビリテーション病院 院長

第52回中国四国リハビリテーション医学研究会
第47回日本リハビリテーション医学会 中国・四国地方会
開催にあたって

第52回中国四国リハビリテーション医学研究会
第47回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会

会 長 加世田 ゆみ子

広島市立リハビリテーション病院 病院長

第52回中国四国リハビリテーション医学研究会と第47回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会を開催させていただきますことを大変光栄に思っております。

新型コロナウイルス感染症の先行きが見えない中、7月10日～24日の完全WEB開催とさせていただきました。

現地開催の学会に参加して、顔を見ながらワイワイガヤガヤ議論できないのは残念です。しかし、自宅でも参加でき、多くの演題を視聴できる利点があります。質問をお受けするシステムを用意しておりますので、積極的に活用して頂ければ幸いです。

皆様のご協力により、研究会で24題、地方会で11題の一般演題の御登録を頂きました。心より感謝申し上げます。

教育研修講演では、宮井一郎先生(社会医療法人大道会 副理事長、森之宮病院 院長代理)に「神経難病に対する神経リハビリテーション ～脊髄小脳変性症を中心に～」、吉田光由先生(藤田医科大学医学部歯科口腔外科学講座 教授)に「食べる機能の評価」、古澤一成先生(吉備高原医療リハビリテーションセンター 病院長)に「With コロナで脊髄損傷者にしていただきたいこと～免疫学的側面からみた運動の重要性～」について御講演頂きます。

いずれも、多職種連携が必要な分野であり、医師とリハ関連職種が同時に参加する本会は、貴重な機会となると存じます。

本大会への御参加により、中国・四国地区のリハ医学・医療の質がより高まることを祈念しております。

ご 案 内

1. 参加者の皆様へ

1) 開催方式・WEB 配信期間について

本会におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、完全 WEB 開催とさせていただきますこととなりました。

WEB 配信期間：2022年7月10日(日)～24日(日)まで

2) 参加登録

受付期間：2022年6月10日(金)～7月24日(日) 15:00まで

参 加 費：医師・メディカルスタッフ・企業 2,000円
学部学生(大学院生含む)、専門学校生 ※無料

本会は WEB 開催のため、参加登録が必須となります。すべての参加者および発表者は、大会ホームページより上記期間内で必ずご登録くださいますようお願い致します。

学部学生・専門学校生でお申込みの方は、学生証のコピーを運営事務局までメール(sugihara@soriha-hiroshima.jp)またはFAX(082-848-8003)にてお送りください。

参加証明書ならびに領収証につきましては、視聴ページより、各自ダウンロードが可能です。以下の期限内に必ずご自身にてダウンロードをお願いいたします。

領収書 e-casebook マイページよりいつでも発行可能です。

参加証ダウンロード期間 2022年7月10日(日)～8月25日(木)

3) 本会は完全 WEB 開催のため、抄録集はホームページよりダウンロードしていただくようになります。参加登録後、上記参加証明書ならびに領収書と同期間でダウンロードをお願いいたします。

4) 各学会の研修単位申請を希望される方は、オンライン参加登録完了後、教育研修講演の受講をお申し込みください。

受付期間：2022年6月10日(金)～7月24日(日) 15:00まで

受 講 料：1セッション 1,000円

※受講料の払い戻しはいたしませんのでご注意ください。

5) 中国四国リハビリテーション医学研究会に入会を希望される方は、研究会事務局(rehabili@med.kawasaki-m.ac.jp)までご連絡ください。

2. 演者の皆様へ

1) 発表時間は6分間、発表音声付 PowerPoint データによる発表となります。事前にメールでご案内いたしました「WEB 掲載に関する同意事項について」、および「データ作成方法」をご確認いただき、事前に作成の上、ご登録をいただきますようお願いいたします。

- 2) スライドはワイド画面(16:9)にて作成してください(標準画面(4:3)で作成された場合、ずれが生じる可能性があります)。
- 3) 発表画面のスライド枚数およびデータ容量に制限はありません。6分間の発表時間に収まるようにご調整ください。
- 4) 作成された発表用動画は、ファイル名を「受付番号_氏名」としてください(例: ●●_リハ太郎)。
- 5) 上記発表動画は2022年6月17日(金)正午までに、ホームページよりご登録をお願いいたします。なお、ご登録いただいたファイルは、本会終了後に事務局で責任をもって消去します。
- 6) リハビリテーション科専門医試験受験予定で、本地方会で演題発表され、「地方会発表証明書」をご希望の方には、お渡ししますので事前に事務局にお知らせください。学会会期後に発表証明書を郵送いたします。
 ※地方会・研究会にて各一演題ずつ優秀演題を表彰いたします。優秀演題の発表者には表彰状と副賞5万円が贈呈されます。表彰式は発表会の次の総会時に行われます。

3. リハビリテーション医学会専門医・認定臨床医の皆様へ

セッション	講演・講師
教育研修講演1	神経難病に対する神経リハビリテーション ～脊髄小脳変性症を中心に～ 宮井 一郎 社会医療法人大道会森之宮病院 神経リハビリテーション研究部、 社会医療法人大道会 副理事長、森之宮病院 院長代理
教育研修講演2	食べる機能の評価 吉田 光由 藤田医科大学医学部歯科口腔外科学講座 教授
教育研修講演3	With コロナで脊髄損傷者にしていただきたいこと ～免疫学的側面からみた運動の重要性～ 古澤 一成 吉備高原医療リハビリテーションセンター 病院長

- 本会では、生涯研修単位(以下、カッコ内は日本専門医機構認定リハビリテーション科専門医の単位数)を学会参加で10単位(1単位)、上記の教育研修講演で各10単位(1単位)取得できます。また、地方会発表の筆頭演者はさらに年度末自己申請により1演題10単位(1単位)が取得できます。
- 教育研修講演で単位取得ご希望の方は、参加登録とあわせて単位受講をお申込みの上、各講演1,000円をお支払いください。

- なお、WEB 開催においては、参加登録および研修会受講申込と視聴履歴にて聴講実績を確認いたします。参加登録とあわせて研修会受講をお申込みいただき、必ず動画開始から終了までご視聴いただきますようお願い致します。
- WEB 開催期間終了後、9月下旬を目途に聴講実績の確認が取れた受講者へと、運営事務局よりメールにて「日本リハビリテーション医学会 専門医・認定臨床医生涯教育研修会受講証」をお送りいたします。

4. 日本整形外科学会専門医の皆様へ

セッション	講演・講師	日整会 認定番号	日整会 必須分野	希望 単位
教育研修 講演 1	神経難病に対する神経リハビリテーション ～脊髄小脳変性症を中心に～ 宮井 一郎 社会医療法人大道会森之宮病院 神経リハビリテーション研究部、社会医療法人大道会 副理事長、森之宮病院 院長代理	22-0384 (001)	8, 13	Re
教育研修 講演 2	食べる機能の評価 吉田 光由 藤田医科大学医学部歯科口腔外科学講座 教授	22-0384 (002)	8, 13	Re
教育研修 講演 3	With コロナで脊髄損傷者にしていきたいこと ～免疫学的側面からみた運動の重要性～ 古澤 一成 吉備高原医療リハビリテーションセンター 病院長	22-0384 (003)	7, 13	SS

- 日本整形外科学会専門医取得単位について
N：専門医単位
SS：脊椎脊髄病単位
Re：運動器リハビリテーション単位
- 教育研修講演の受講により日本整形外科学会教育研修単位（各1単位）の取得が可能です。単位取得をご希望の方は、参加登録とあわせて単位受講をお申込みの上、各講演1,000円をお支払いください。
- なお、WEB 開催においては、参加および受講登録と視聴後に出題されるテストの回答、また視聴履歴にて聴講実績を確認いたします。対象セッションでの単位取得をご希望の場合は、参加登録とあわせて研修会受講をお申込みの上、必ず動画開始から終了までご視聴いただき、視聴後に出題される設問へのご回答（複数回答可）をお願いいたします。

5. 理学療法士の皆様へ

当会では、日本理学療法士協会生涯教育基礎研修のポイントは取得できません。

6. 作業療法士の皆様へ

日本作業療法士協会生涯教育基礎研修において、参加・発表で各1ポイントが取得できます。本会 WEB 配信ページ上にてダウンロードいただいた参加証明書または領収証のコピーを県士会総会時等にご提示ください。

7. 言語聴覚士の皆様へ

日本言語聴覚士協会 生涯学習プログラムの参加・発表で各1ポイントが取得できます。生涯学習プログラム終了申請の際に、本会 WEB 配信ページ上にてダウンロードいただいた参加証明書や領収証(コピー可)を日本言語聴覚士協会事務所まで提出ください。

8. セラピストマネージャー 認定看護師の皆様へ

本大会は、回復期リハ看護師・認定セラピストマネージャー認定資格更新のためのポイント付与対象となります。参加者ご自身で各コースポイント申請月に申請手続きをお願いします。(回復期リハ看護師認定者は8月、セラピストマネージャーは1月)ポイント申請の手続き方法はオリエンテーションテキスト又は、ホームページ専用サイト「リハ看護師の広場」、「セラピストマネージャーの広場」にてご確認ください。

9. 理事会・幹事会のご案内

2022年7月10日(日)13時15分～13時45分 WEB 会議(Zoom)にて行います。ご参加の先生方には、中国四国リハビリテーション医学会研究会より事前に Zoom 招待 URL をお送りいたします。

10. 総会のご案内

2022年7月10日(日)14時00分より WEB 開催(Zoom)にて行います(約30分間)。事前に参加登録が必要となります。参加登録者は、WEB 会議(Zoom)にて参加となります。参加ご希望の方は、rehabili@med.kawasaki-m.ac.jp までお問い合わせください。

プログラム

WEB 会議 (Zoom)

開催日：7月10日回

理事会・幹事会 13:15～

総会 14:00～

完全 WEB 開催 (オンデマンド配信)

開催期間：7月10日回 9:00～ 7月24日回 17:00まで

教育研修講演 1

〔 神経難病に対する神経リハビリテーション ～脊髄小脳変性症を中心に～ 〕

宮井 一郎 先生 社会医療法人大道会森之宮病院 神経リハビリテーション研究部、
社会医療法人大道会 副理事長、森之宮病院 院長代理

教育研修講演 2

〔 食べる機能の評価 〕

吉田 光由 先生 藤田医科大学医学部歯科口腔外科学講座 教授

教育研修講演 2

〔 With コロナで脊髄損傷者にしていただきたいこと ～免疫学的側面からみた運動の重要性～ 〕

古澤 一成 先生 吉備高原医療リハビリテーションセンター 病院長

研究会 1

- 01** 慢性呼吸不全を呈する神経難病患者に対する
肺容量リクルートメント装置の使用経験
社会医療法人祥和会 脳神経センター大田記念病院
リハビリテーション課 池田 光希 14
- 02** 老健施設入所者における肺炎発症に関連する因子の検討
真誠会訪問リハビリテーション リハビリテーション科 岡田 陸 16
- 03** 骨格筋機能改善に伴い重症 COVID-19 肺炎後の運動性過呼吸が改善した症例
学校法人川崎学園 川崎医科大学附属病院
リハビリテーションセンター 杉 吉郎 18
- 04** くも膜下出血術後の痙縮に対する拡散型体外衝撃波の効果
—シングルケースによる検討—
西広島リハビリテーション病院 渡邊 匠 20
- 05** 若年ギラン・バレー症候群患者に対し歩行予後予測を行い介入した一例
島根大学医学部附属病院 リハビリテーション部 田中 和喜 22
- 06** 表皮水疱症の児の理学療法の経験
～多職種にて行った嚥下障害と皮膚病変のリスク管理～
山口大学医学部附属病院 リハビリテーション部 武野 愛皆 24
- 07** 脊髄性筋萎縮症Ⅲ型のボッチャスリットにおける体組成の経時変化
広島大学病院 診療支援部 リハビリテーション部門 平田 和彦 26
- 08** Hybrid assistive limb (HAL) 医療用下肢タイプによる歩行訓練が
前後の筋発揮へ与えた脊髄性筋萎縮症Ⅲ型の一例
広島大学病院 診療支援部 リハビリテーション部門 折田 直哉 28

研究会2

- 09** 腰部脊柱管狭窄症患者の Phase angle は疾患の重症度に関連する
—前向き観察研究—
鳥取大学医学部附属病院 リハビリテーション部 和田 崇 32
- 10** 当院の実績指数達成・非達成の傾向について
広島市立リハビリテーション病院 リハビリテーション技術科 政森 敦宏 34
- 11** 暑熱環境での上肢運動中の全身発汗量の推移
～健常者と下肢切断者の比較～
広島大学病院 診療支援部 リハビリテーション部門 福原 幸樹 36
- 12** 脊髄損傷者の褥瘡予防における車椅子クッションの工夫
—エア抜きテープの開発—
吉備高原医療リハビリテーションセンター 中央リハビリテーション部 八重 景介 38
- 13** 脊髄損傷者の転倒転落予防チームの取り組みについて
吉備高原医療リハビリテーションセンター 中央リハビリテーション部 中司 実波 40
- 14** パーキンソン病患者の短期集中リハビリテーションが運動機能に与える影響
広島市立リハビリテーション病院 リハビリテーション技術科 砂堀 仁志 42
- 15** 回復期病院退院後の困りごとに関する分析
—KJ法を用いて—
広島市立リハビリテーション病院 リハビリテーション技術科 宮田 淳志 44
- 16** 回復期リハビリテーション病棟に入院した人工骨頭置換術患者の
歩行自立に関連する因子
広島市立リハビリテーション病院 平山 秀和 46

研究会3

- 17** 当センターにおける運転再開支援後の現状把握と、今後の支援について
社会福祉法人 広島県福祉事業団 広島県立障害者リハビリテーションセンター
機能回復訓練部 作業・言語療法科 藤井 美香 48
- 18** 食道癌術後の反回神経麻痺患者に対するバキューム嚥下の導入
高知県高知市病院企業団 高知医療センター 医療技術局 作業言語技術科 中山 靖規 50

- 19** ビジランス課題中の瞳孔径変化は脳卒中患者の不注意状態を表すか
 広島市立リハビリテーション病院 リハビリテーション技術科 牛尾 真也 52
- 20** 蘇生後脳症により全生活史におよぶ逆行性健忘を呈した一症例の経過
 広島市立リハビリテーション病院 リハビリテーション技術科 山田 怜奈 54
- 21** 子音の省略を呈した機能性構音障害児への介入経験
 島根大学医学部附属病院 リハビリテーション部 伊藤 希実 56
- 22** 嚥下音による定量評価が摂食嚥下状況の把握に有用であった1例
 高知大学医学部附属病院 リハビリテーション部 中平 真矢 58
- 23** 急性期病院における入院高齢患者の GNRI は嚥下内視鏡検査スコアで評価した
 嚥下障害と関連する
 広島大学病院 診療支援部 リハビリテーション部門 吉川 浩平 60
- 24** 頸椎前方除圧固定術後患者における嚥下関連筋の筋機能の特徴
 高知大学医学部附属病院 リハビリテーション部 矢野川 大輝 62

地方会 1

- 25** 術前に歩行障害がある患者に対するリバーズ型人工肩関節置換術の成績
 国立病院機構 高知病院 福田 昇司 64
- 26** 母指対立障害をきたした手根管症候群重症例に対する Camitz 変法の術後成績
 JA 山口厚生連 小郡第一総合病院 曾根崎 至超 66
- 27** 上腕骨骨幹部骨折術後偽関節を生じた多発外傷の1例
 中国労災病院 整形外科 中邑 祥博 68
- 28** 20G 注射孔から挿入したガイド付きナイフによるばね指手術
 広島大学病院 リハビリテーション科 医局員 天野 佐亞哉 70
- 29** 大動脈弁狭窄症に対して TAVI を施行された1例と僧帽弁閉鎖不全症に対して
 MitraClip[®]を施行された1例
 広島大学病院 リハビリテーション科 野川 裕史 72
- 30** 高齢者大腿軟部肉腫術後再発に対して大腿切断を行った一例
 独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター リハビリテーション科 近藤 宏也 74

- 31** MCS と SCS が脳卒中後の運動麻痺に及ぼす影響の検討
広島市立リハビリテーション病院 脳神経外科 竹下 真一郎 76
- 32** 広島市ジュニアアスリートにおけるビタミンD不足と体格・身体機能との関連
広島大学病院 リハビリテーション科 牛尾 会 78
- 33** 演題取り下げ
- 34** 演題取り下げ
- 35** 介護保険の生活期リハビリテーションに関する文献レビュー研究
広島大学病院 リハビリテーション科 三上 幸夫 84
- 36** 就労を再開した Stiff limb 症候群の1例
鳥取大学医学部附属病院 リハビリテーション部 阪田 良一 86
- 37** 出産後1週間で発症した左尾状核出血の治療経験
陸上自衛隊米子駐屯地 医務室 中村 洋介 88

神経難病に対する神経リハビリテーション ～脊髄小脳変性症を中心に～

社会医療法人大道会森之宮病院 神経リハビリテーション研究部、
社会医療法人大道会 副理事長、森之宮病院 院長代理

宮井 一郎

2018年に脊髄小脳変性症・多系統萎縮症診療ガイドラインが策定された。リハビリテーション治療に対する Clinical Question として、理学療法、作業療法、言語聴覚療法、摂食嚥下療法に関する項目がある。理学療法に関しては、小脳失調を主体とする脊髄小脳変性症に対して、バランスや歩行に対する理学療法を集中的に行うと、小脳失調や歩行が改善する(グレード1B)とされる。講演では以下の観点を中心に解説する。

- 1) 重症度や病期によって、心身機能、活動・参加における具体的なゴールとそれを評価するアウトカム指標を定めて、患者参加型のリハビリテーション治療を行う。
- 2) 治療プログラムはバランス・歩行練習を中心とした包括的構成であるが、有効性を規定する具体的内容、練習量、期間などは明確ではない。一方、在宅での有酸素運動の効果も示唆されている。
- 3) 変性が生じる小脳組織が異なる病型に応じた効果の違いやプログラムの検証も今後の問題である。
- 4) バランス能力改善に伴い、脳活動の変化もみられることから、非侵襲的な Neuromodulation 効果の検証もなされつつある。

略 歴

1984年 大阪大学医学部 卒業。大阪大学 第2内科、住友病院 神経内科、米国コーネル大学などを経て、2000年 大道会ボバース記念病院 神経リハビリテーション研究部、2002年 同 院長。2006年より現職。

所属学会・役職等

大阪大学医学部臨床教授、日本リハ医学会代議員・専門医・指導医、日本神経学会代議員・専門医・指導医、日本脳卒中学会評議員・専門医、日本ニューロリハ学会理事、光脳機能イメージング学会理事、日本小脳学会理事、回復期リハ棟協会副会長、日本リハ病院・施設協会理事、リハビリテーション医療デジタルトランスフォーメーション研究会理事、日本医療機能評価機構 評価事業運営委員・付加機能評価改訂検討分科会座長、医薬品医療機器総合機構 専門委員、Neurorehabilitation and Neural Repair, Associate editor など。

専門分野

神経リハビリテーション

著 書

脳から見たリハビリ治療. 講談社(2005)、学習と脳. サイエンス社(2007)、NIRS一基礎と臨床一. 新興医学出版社(2012)、回復期における高次脳機能障害へのアプローチー病態評価に基づく対応一. 全日本出版会(2016)、脳卒中の神経リハビリテーションー新しいロジックと実践. 中外医学社(2017)など。

01

1. 慢性呼吸不全を呈する神経難病患者に対する

肺容量リクルートメント装置の使用経験

- 社会医療法人祥和会 脳神経センター大田記念病院 リハビリテーション課¹,
社会医療法人祥和会 脳神経センター大田記念病院 脳神経内科²
社会医療法人祥和会 脳神経センター大田記念病院 リハビリテーション科³

○池田 光希¹, 北井 真太郎¹, 安倍 崇文¹, 埜下 哲央¹,
佐藤 恒太², 松浦 大輔³, 郡山 達男²

【はじめに】

慢性進行性の拘束性換気障害を呈する神経難病に対して、最大強制吸気量 (MIC) の維持を目的とした呼吸リハビリテーションが有効とされている。当院はバックバルブマスクを用いた徒手換気に肺容量リクルートメント (LVR) 装置を導入しており、その実績について報告する。

【対象と方法】

外来で LVR を継続した 2 名の患者での LVR 導入前後の経過についてカルテを元の後方視的に検討した。

【結果】

1 例目は筋萎縮性側索硬化症の 60 歳代男性で、夜間非侵襲的陽圧換気療法 (NPPV) 導入中であった。LVR 開始前から%肺活量 (%VC) 55%、咳嗽時の最大呼気流量 (CPF) 200L/min であったが LVR 開始後も呼吸不全が進行し、5 か月で気管切開に至った。しかし LVR 開始後 3 か月間は夜間の一回換気量 (TV) は 268-298ml で維持されていた。2 例目は夜間 NPPV を使用する遺伝性封入体筋炎の 60 歳代男性。LVR 開始前は%VC 58%、CPF 240L/min であり、夜間の TV は平均 345-387ml であった。LVR 開始後%VC 59%、

CPF 170-300L/min と大きな変化はなかったが、夜間 TV は 336-441ml と改善した。2 例とも LVR を用いた呼吸リハの手技取得は問題なく、自覚的な使用感も良好で長期的な継続使用が可能であった。

【考察】

LVR 装置は MIC の維持を目的としたリハビリ装置である。LVR 併用での呼吸リハビリテーションは、進行性の呼吸不全を呈する疾患でも胸郭コンプライアンスの改善により、TV の維持・向上が期待できる可能性がある。

第52回中国四国リハビリテーション医学研究会
第47回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会
プログラム・抄録集

会 長：加世田 ゆみ子

事務局：広島市立リハビリテーション病院

杉原 勝宣

〒731-3168 広島県広島市安佐南区伴南1-39-1

FAX：082-848-8003

E-mail：sugihara@soriha-hiroshima.jp

出 版：株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025

<https://secand.jp/>

